

## 多核種除去設備等処理水の海洋放出処分に関する県の取組について

令和8年3月 宮城県水産林政部水産林業政策室

## 1 多核種除去設備等処理水の海洋放出処分と県における対応

- 令和5年8月24日から、東京電力福島第一原子力発電所の多核種除去設備等処理水（以下、処理水という。）の海洋放出が始まり、一部の国・地域で日本産水産物の輸入禁止措置が講じられるなど、県内の水産業をはじめとした関係事業者に影響が生じる状況となった。
- 県では、令和5年9月に「みやぎ水産応援パッケージ」をとりまとめ、①相談窓口、②経営支援、③情報発信 ④販売促進の4本柱による事業者の支援に継続的に取り組んできた。
- 政府要望などの機会を活用し、処理水に関する迅速かつ適切な賠償の実施をはじめ、一部の国・地域における輸入禁止措置の一刻も早い解除、風評対策・なりわい支援の継続的な実施について、国及び東京電力に要望・要請してきた。
- 引き続き、「みやぎ水産応援パッケージ」による事業者に寄り添った支援に取り組んでいくとともに、国及び東京電力に対し、必要な申し入れを行っていく。

## 2 令和7年度における「みやぎ水産応援パッケージ」の主な取組実績（令和8年2月末時点）

項目名	担当課室	主な実績
①相談窓口		
処理水に関する漁業経営相談窓口の設置	水産業振興課	相談窓口による相談受付を継続
損害賠償に関する個別相談会の開催	原子力安全対策課	県内5会場（仙台、大崎、石巻、大河原、気仙沼）で個別相談会を開催
②経営支援		
漁業経営サポート資金の発動	水産業振興課	貸付決定22件への利子補給を継続
次世代漁業人材向け漁船等導入支援	水産業振興課	4件の交付決定を実施
③情報発信		
みやぎ原子力情報ステーション等の充実強化	原子力安全対策課	水産物の放射性物質検査結果を、随時、県ホームページ等で公表
水産物安全確保対策事業（放射性物質検査）	水産業振興課	水産物3,908点を検査し、全て基準値未満であることを確認
④販売促進		
水産加工品等の販売会の開催	水産業振興課	（県庁1階ロビー）15日間開催、延べ45者出展 （仙台駅）5日間開催、15者出展
水産加工品等の販路開拓強化支援	水産業振興課	展示会・商談会等への出展支援として、20件の交付決定を実施 大規模商談会等への出展支援、北関東での量販店・飲食店フェア等を実施
水産物の海外販路開拓	国際ビジネス推進室	6か国・地域からバイヤーを招へいし、試食・意見交換会と産地視察等を実施 新市場（メキシコ）への販路開拓に向けた小売店フェア・試食商談会等を実施